

第14回 在宅・施設・医療機関実務者連携の会を開催しました。



2017年4月20日「第14回在宅・施設・医療機関実務者連携の会」を開催しました。今回も前回好評だったワールドカフェで、総勢51名 連携を深めることができました。

今回、新たな取組みとして いつも我々が大変お世話になっている福祉用具の業者の方をお誘い致しました。お仕事がお忙しい中、快くご参加いただきました。ありがとうございました。

ゲストの方々の職種もさまざま普段話す機会のない方とも楽しく話せるワールドカフェはとても有意義でした。

また「退院支援」をテーマに それぞれの視点から意見を交わし在宅・施設・医療機関のことを知る良い機会となりました。

今後も定期的に関催をする予定です。地域の方々が安心して暮らせるしくみを一緒に構築していきたいですね。



←4月20日 サクラはもう散っていたので手術課:八木看護師の手作りサクラwelcomeボードで皆さまをお出迎えました。

司会進行は倉敷第一病院の「次長課長」が担当しました。→
 勤続37年の看護次長: 齊藤と勤続27年の地域医療センター課長: 嶋津の昭和～平成初期の色あせた写真での自己紹介は「ややウケ」でしたが、緊張している会場の雰囲気はほぐせたようでした。

アップはきついので引きのぼやけた写真で失礼します(齊藤・嶋津)



今回のワールドカフェの流れ

テーマ「退院支援」
～どこまで出来るを共有しよう～

- 1.自己紹介&カフェトーク①
- 2.カフェトーク② シャッフル
- 3.カフェトーク③ シャッフル
- 4.最終カフェトーク もとのグループへ
- 5.振り返り、感想記載、模造紙貼付
全員で記念撮影



参加された皆様からの感想 (一部抜粋)

「とても楽しかったです。また参加したいです。」

「毎回、元気になる”くらいちカフェ”準備が大変だったと思います。喜んで帰りました。次回も参加します。」

「出して頂いたお菓子を食べる暇がないくらい会話ははすみしました。」

「病院の方と在宅・施設の方の人の認識の違いが浮き挙がり良かったです。相互理解の第一歩だと思います。」

「様々な職種の方と知り合え、皆さんの苦労されていることも理解出来て勉強になりました。皆さんで地域の福祉を支えている!!実感がしました。」



←最後に参加者がそれぞれ心に残ったフレーズを記入し、模造紙に貼り付けて、カラフルな「このほり」が完成!!
こちらもWelcomeボード作成の八木看護師がデザインしてくれました。竿の先のクルクル回る部分(金色)は「みんなが手を繋いで輪(和)を作っているデザインよ」と言っていました。

当院職員にもたくさんの気づきを得る機会になりました

今回も参加した職員で“振り返りの会”をおこないました。

「退院後の生活を見据えた情報提供を行う」「看護サマリーに夜間の様子も情報提供する」「入院中から訪問看護さんと関わりをもち一緒に退院支援をしたい」など様々な気づきがありました。これを現場に繋げてより良い退院支援に努めていきたいと思えます。また次回の会にはもっと多くの職員が参加して地域の皆様と連携したいと考えております。

第15回もみんなが元気で笑顔になれる会が開催できるよう企画してまいります。今後ともよろしくお願い致します。

